

私は、動物・植物・魚・虫など、いろいろな生き物と自然をとても大切にしたいと思います。なので、生き物や自然を、大切にするということは生き物たちが住んでる自然を守ることだと私は思います。自然は、人間たちに少しづつ壊されつけられています。のままでは、生き物や自然がなくなってしまうと思います。なので、自然を守るには木でつくられた製品を大事にしたり、資源を節約したりすればいいと思います。

そして私が、生き物と自然を守っていきたいと思つた理由は、生き物が好きだからです。特に好きなのは、エキゾチックアーマルなどです。そんな生き物が絶滅してしまつて、人間がこまつてしまつことがあるからです。たとえば、蜂やチョウなどがいなくなってしまうと、植物の受粉をしてくれる虫がいなくなり、野菜や果物をつくることが難しくなつてしまします。木がなくなると、人間が物をつくることが難しくなります。このように、生き物や自然がなくなつてしまつて、人間もこまることになるのです。

ふだん生き物や自然に、かかわつていないと思つている人でも、一つはかかわつてゐるのではないか…私はそう思つています。どんな人でも生き物や自然を大切にしていつの方がいいと思ひます。これからもっと、私は生き物と自然にかかわると思つので、生き物と自然を、とても大切にしていきたいと思います。

そして、大きくなつたら、獣医になりたいと思ひます。

実験植物園に行って

つくば市立松代小学校 六年 西本 誠歩

ぼくは、先日、家族とつくば実験植物園に行きました。ちょうどクレマチスが見ごろで、いろいろな形で、白、赤、むらさき、ピンク色をしたたくさんのクレマチスの花を見ることができました。また、花の形がまるでハンカチのようになつていて、「ハンカチの木」は面白い花が咲いていました。ほかにも植物にはさまざまな種類があることがわかりました。

日本にはおよそ七千種類の植物があり、その中の四種類にひとつが絶滅つてしまいそうな植物になつていて、それを知り驚きました。たとえば、シノ科のヤエヤマスコウジは、むらさき色の小さな花がさき、葉も小さくてかわいらしい植物ですが、日本では沖縄地方にしか見られない珍しい植物で、絶滅の危険性が増大している絶滅危惧種Ⅱ類に分類されています。

植物が絶滅しそうになる一番の理由は、人が便利に生活するために多くの土地を開拓したり、排出した二酸化炭素などで地球が温暖化してしまい、植物が育ちにくい環境に変わってしまったからです。

実験植物園では植物の絶滅を防ぐため、もともと生えていた場所から植物を持ち帰り、育ち利用したり、緑のカーテンを作つてエアコンの使用量を減らして地球温暖化の原因となる二酸化炭素などの量を減らすことや、自然環境を守るために、森にみなどを捨てないことが身近にできる取組だと思います。わたしはこれらのことを行つて、絶滅が危惧されている植物を助けたいと思います。

南三陸新聞

六年 西本 誠歩

自然がいっぱい 田東山

田東山には、たくさん花や草があり、たくさんの生き物を見ることができました。自分で釣った魚も調理してもらいました。とてもおいしかったです。

巨石

伝説では、巨石は大変に雷で割れ目ができ、その割れ目を通れないそうですが、ぼくは、なんとか通ることができました。

海での活動

あいしかつた カンガルーサンド

メープル場での朝ごはんはカンガルーサンドといつて食べました。ハムとナーストを食べ、牛乳パックを燃やして焼くのです。牛乳パックに火を付け火が減り、牛乳パックの火が進まなかったので、火をつづけていました。火をつづけていたのですが、小石をあき、空気の通り道をつづつたり工夫してうまく燃やすことができました。

編集後記

今回、とうほく南三陸探検隊に参加して、南三陸町の豊かな自然の中でおまつなしのいいキャンプやクリーニング、ツリーフィッシングなどを体験することができたのはとても大きかったです。特に自分でついた魚を調理してもらいたい、おりしく食べることができ、自然と一緒にしました。また、クリーンビーチのようななう子供でもできる活動を通して、自然を楽しむことが大きかったです。

大切にしたい！自然と生き物

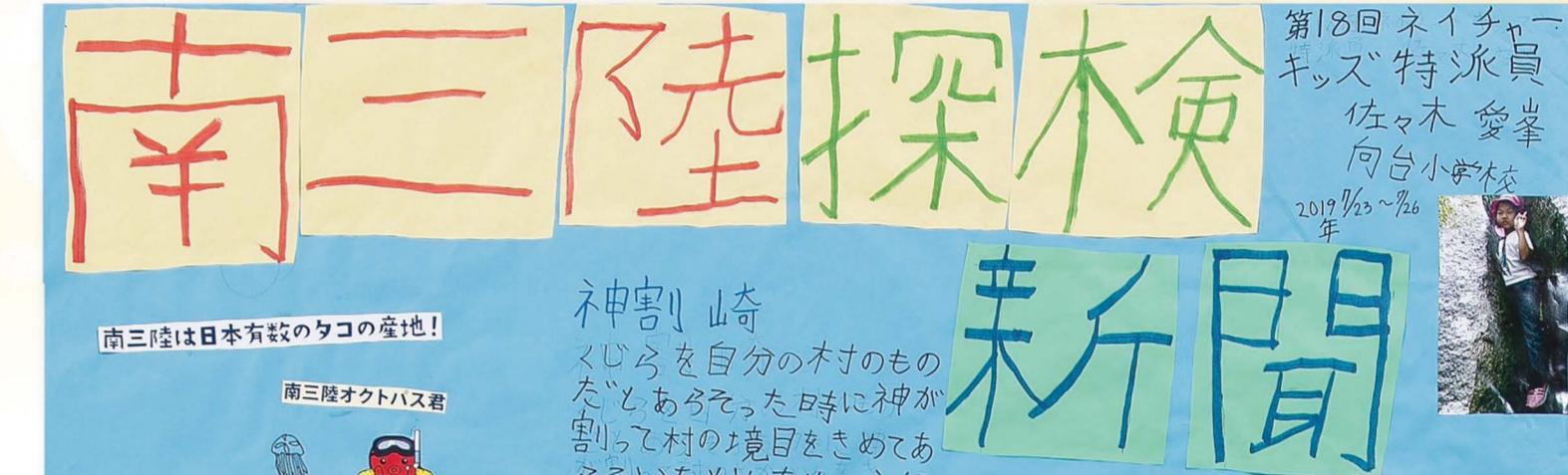
牛久市立向台小学校 六年

佐々木 愛峯

私は、動物・植物・魚・虫など、いろいろな生き物と自然をとても大切にしたいと思います。なので、生き物や自然を、大切にすることとは生き物たちが住んでる自然を守ることだと私は思います。自然は、人間たちに少しづつ壊されつけられています。のままでは、生き物や自然がなくなつてしまつと思います。なので、自然を守るには木でつくられた製品を大事にしたり、資源を節約したりすればいいと思います。

そして私が、生き物と自然を守つていただきたいと思った理由は、生き物が好きだからです。特に好きなのは、エキゾチックアーマルなどです。そんな生き物が絶滅してしまつて、人間がこまつてしまつことがあるからです。たとえば、蜂やチョウなどがいなくなつてしまつて、植物の受粉をしてくれる虫がいなくなり、野菜や果物をつくることが難しくなると、人間が物をつくることが難しくなります。このように、生き物や自然がなくなつてしまつて、人間もこまることになるのです。

ふだん生き物や自然に、かかわつていないと思つている人でも、一つはかかわつてゐるのではないか…私はそう思つています。どんな人でも生き物や自然を大切にしていつの方がいいと思ひます。これからもっと、私は生き物と自然にかかわると思つので、生き物と自然を、とても大切にしていきたいと思います。



南三陸探木便

六年 西本 誠歩

南三陸は日本有数のタコの産地！

神割崎
くじらを自分の木のものだと言つた時に神が割つて村の境目をきめてあらういとめたという伝説があります。

田東山
クリーンビーチ
シュノーケリング、カヤック
ホーネルセントラル
神割崎
キャンプ場
モアイ像
たき火
テント
海のビジターセンター

三三商店街
サケ・ウニ・モアイなど

ワシのはくせい

